平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名　あすか製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4514　URL　http://www.aska-pharma.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山口　隆
問合せ先責任者（役職名）法務広報部長　（氏名）小林　基博　TEL 03-5484-8366
四半期報告書提出予定日　平成21年8月14日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	7,671	15.4	109	―	198	―	75	―
21年3月期第1四半期	6,645	―	△242	―	△129	―	△42	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.70	―
21年3月期第1四半期	△1.51	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	52,011	33,474	64.2	1,185.13
21年3月期	50,801	33,109	65.2	1,175.32

（参考）自己資本　22年3月期第1四半期　33,385百万円　21年3月期　33,109百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
22年3月期	―				
22年3月期（予想）		7.00	―	7.00	14.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	16,120	11.6	430	25.6	560	10.3	290	△11.6	10.29
通期	39,150	28.7	1,360	27.8	1,630	18.3	800	33.3	28.40

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 あすかActavis製薬株式会社) 除外 ―社 (社名)

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	30,563,199株	21年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,393,001株	21年3月期	2,392,429株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	28,170,458株	21年3月期第1四半期	28,173,334株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機の影響による急激な景気の悪化に一部底打ちの兆しはあるものの、企業収益や設備投資の落ち込み、雇用情勢の悪化、個人消費の冷え込み等引き続き厳しい状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、後発医療用医薬品の普及拡大が進むなど、薬剤費削減の基調が継続し、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、医薬品事業を中心に売上げの確保に努めました結果、主力品の売上げ増加ならびに後発医療用医薬品（１品目）を上市したことなどにより、売上高は76億７千１百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

医薬品分野の売上高は72億５百万円（前年同期比15.0%増）、動物用医薬品分野の売上高は３億２千３百万円（前年同期比15.0%増）、そのほか検査、食品、医療機器、原料薬品等の売上高は１億４千３百万円（前年同期比42.3%増）となりました。

利益面では、研究開発費および販売経費等が増加しましたが、売上高増の影響により、営業利益は１億９百万円（前年同期は２億４千２百万円の営業損失）、経常利益は１億９千８百万円（前年同期は１億２千９百万円の経常損失）とそれぞれ増益となりました。四半期純利益も、特別損失として投資有価証券評価損５千４百万円を計上しましたが（前年同期は特別利益１億４千１百万円計上）、７千５百万円（前年同期は４千２百万円の四半期純損失）と増益となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億９百万円増加し、520億１千１百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金は支給対象期間が二分の一のため減少しましたが、固定負債のその他に含まれる長期未払金及び流動負債のその他に含まれる設備支払手形等の増加並びにその他有価証券評価差額金のマイナス幅が減少したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から1.0ポイント低下し64.2%となっております。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成22年３月期の第２四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成21年７月27日公表の数値から変更はありません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第１四半期連結会計期間より、あすかActavis製薬株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①たな卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末のたな卸資産の算出については、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,049	5,034
受取手形及び売掛金	8,443	8,497
有価証券	2,340	4,840
商品及び製品	3,877	3,168
仕掛品	523	739
原材料及び貯蔵品	1,351	1,258
その他	1,795	1,833
流動資産合計	23,380	25,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,813	5,900
その他（純額）	8,915	8,881
有形固定資産合計	14,728	14,781
無形固定資産	3,800	890
投資その他の資産		
投資有価証券	4,795	4,181
その他	5,426	5,695
貸倒引当金	△120	△120
投資その他の資産合計	10,101	9,756
固定資産合計	28,630	25,428
資産合計	52,011	50,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,574	3,478
短期借入金	133	133
未払法人税等	171	73
賞与引当金	579	1,268
その他の引当金	8	9
その他	4,390	3,605
流動負債合計	8,857	8,569
固定負債		
長期借入金	919	940
退職給付引当金	6,733	6,700
その他の引当金	226	250
その他	1,800	1,230
固定負債合計	9,679	9,122
負債合計	18,536	17,691

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	34,024	34,145
自己株式	△2,304	△2,304
株主資本合計	33,762	33,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△377	△774
評価・換算差額等合計	△377	△774
少数株主持分	89	―
純資産合計	33,474	33,109
負債純資産合計	52,011	50,801

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
売上高	6,645	7,671
売上原価	2,588	2,953
売上総利益	4,057	4,718
返品調整引当金繰入額	0	△1
差引売上総利益	4,057	4,719
販売費及び一般管理費	4,299	4,610
営業利益又は営業損失（△）	△242	109
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	47	41
不動産賃貸料	45	41
その他	32	14
営業外収益合計	137	100
営業外費用		
支払利息	6	4
たな卸資産処分損	12	－
固定資産処分損	2	0
コミットメントフィー	－	3
その他	2	3
営業外費用合計	24	11
経常利益又は経常損失（△）	△129	198
特別利益		
退職給付制度終了益	141	－
特別利益合計	141	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	54
特別損失合計	－	54
税金等調整前四半期純利益	11	144
法人税等	54	69
少数株主損失（△）	－	△0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△42	75

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11	144
減価償却費	200	344
投資有価証券評価損益（△は益）	－	54
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,598	32
賞与引当金の増減額（△は減少）	△660	△689
受取利息及び受取配当金	△59	△45
支払利息	6	4
売上債権の増減額（△は増加）	854	53
たな卸資産の増減額（△は増加）	△83	△585
仕入債務の増減額（△は減少）	△319	78
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額（△は減少）	1,355	△195
その他	146	373
小計	△146	△428
利息及び配当金の受取額	56	45
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額	△883	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	△979	△441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,138	△1,024
その他	△261	△923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△1,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
少数株主からの払込みによる収入	－	90
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△0
配当金の支払額	△158	△164
その他	△20	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,559	△2,485
現金及び現金同等物の期首残高	12,765	9,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,206	7,289

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。